

## シノモルガス由来トランスグルタミナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1726

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

トランスグルタミナーゼは、ポリペプチド鎖内または間にアイソペプチド結合を有入することによって、タンパク質の翻訳後修飾を触媒する酵素のファミリーです。これらの酵素は、ペプチド結合したグルタミン残基の $\gamma$ -カルボキシアミド基とさまざまな一次アミン、特にリジンの $\epsilon$ -アミノ基との間でアシル転移反応を触媒します。得られるクロスリンクは非常に安定であり、機械的およびプロテオリティックな分解に対しても抵抗性があるため、非常に重要です。

#### 用途

タンパク質のラベリング、固定化、結合および修飾。

#### 別名

トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド $\gamma$ -グルタミル転移酵素; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミルペプチド:アミン $\gamma$ -グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン $\gamma$ -グルタミル転移酵素; TG1

### 製品情報

#### 種

シノモルガス

#### 由来

昆虫細胞

#### 外観

白色の凍結乾燥固体。

#### 形態

精製されたトランスグルタミナーゼは、20 mM Tris-HCl pH 7.5、150 mM NaCl、1 mM DTT、1 mM EDTAから凍結乾燥され、マルトデキストリンを含んでいます。

#### EC番号

EC 2.3.2.13

#### CAS登録番号

80146-85-6

#### 分子量

84 kDa (monomer), 168 kDa (homodimer)

#### 純度

> 還元条件下でのSDS-PAGEによる95%

#### 活性

> 2000 U/mg [活性は、Lorand et al. の方法に従って、N,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光強度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)。]

#### 単位定義

1 Uは、1 a.u./minの蛍光强度の増加として定義されます (Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定;  $\lambda_{\text{ex}} = 332 \text{ nm}$ ,  $\lambda_{\text{em}} = 500 \text{ nm}$ ; バンドフィルター = 5 nm; 出器強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml)。

### 使用法とパッケージング

#### 包装

200  $\mu\text{g}$

#### 再構成

凍結乾燥された粉末のバイアルに、タンパク質が凍結乾燥されたH2Oの量を少なくとも加えてください。固体が溶解するまで、バイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は作業用アリコットで冷凍保存する必要があります。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°Cで作業用アリコットに保存してください。繰り返しの凍結と解凍は推奨されません。常

